



主催 / 会場

MotoUP 桶川スポーツランド
埼玉県桶川市川田谷上野 7921-3
TEL 090-3234-8888 WEB <https://okspo.jp>

後援 / 協賛企業

後援 RIDING SPORT

協賛 別紙に記載

開催日程

2023年3月12日(日)

エントリー期間：2023/2/1~3/5

レース概要

ミニバイク・大型バイクの2時間耐久レースをそれぞれ開催。

1チーム2名以上3名までとし、各チーム人数分のマシンを登録可能。

ミニバイク、大型バイクともに起用するライダーやマシンによって周回数が±されるハンデルールを採用。

なお、ハンデ対象のマシン及びライダーが決勝中にコースインしなかった場合そのハンデは適用されない。

ミニバイクは上限タイム49秒の白帯クラス(入門~初級)と、

上限タイムなしでEXPライダーを1人まで起用できる黒帯クラス(中~上級)の2クラス。

大型は上限タイム48秒の白帯クラス(入門~初級)と、

上限タイムなしの黒帯クラス(中~上級)に分け、それぞれ混走別表彰で争われます。

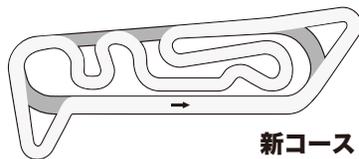
練習走行・予選

各クラスに練習予選走行を30分間設け、その中で出したベストタイムが決勝のグリッド(並び順)になります。時間内のライダー交代は自由ですが、各チーム計測器をつけた状態のマシンのみがコースイン可能となります。このとき出走できない、または計時できない場合は最後尾スタートとし、その場合はゼッケン順でのグリッド整列となります。

決勝

予選で決定したグリッドをもとにルマン式に整列しレーススタート。時間内の周回数を競います。1人あたりの1スティント(連続走行時間)は25分未満とし、必ずライダーを交代してください。これを超過した場合は25分ごとに-1周のペナルティが科されます。なお、ハンデ対象のマシン及びライダーが決勝中にコースインしなかった場合そのハンデは適用されません。

使用コース



新コース(840m)

参加資格

常識を持ち、スポーツマンシップにのっとった行動ができるもの。開催趣旨や規則を熟知し順守できる者。レース開催日有効な桶川スポーツランドスポーツ安全保険またはライディングスポーツメンバーズに加入しているもの。未成年者は親権者の参加同意書が必要。

参加方法

- [1] サーキットで直接申し込み……申し込み用紙に記入後、エントリーフィーとともに提出します。★2/1(水)10:00~
- [2] 現金書留で申し込み……桶川スポーツランドあてに申込用紙とエントリーフィーを入れて送ってください。
- [3] ネットエントリー……HPの桶耐特設ページのフォームから申し込みを行います。★2/1(水)昼12:00~
エントリーフィーは現金・各種キャッシュレス決済が可能です。

賞典・特別賞

賞典対象台数は、各クラス決勝出走台数をもとに算出します。

表彰

- 3台以下……1位のみ
- 4～5台……2位
- 6台～7台……3位
- 8台～9台……4位
- 10台～11台……5位
- 12台以上……6位

特別賞

- 完走賞……完走したチームより抽選を行い、賞金 10 万円 を進呈します。
- その他協賛各社からの特別賞が進呈される場合があります。

エントリーフィー

※保険料別。桶川スポーツランド安全保険またはライスポメンバーズに加入必須となります。

1 チーム 20,000 円 (税込)

保険加入



保険加入は WEB、サーキット窓口で行ってください
<https://okspo.jp/insurance/>

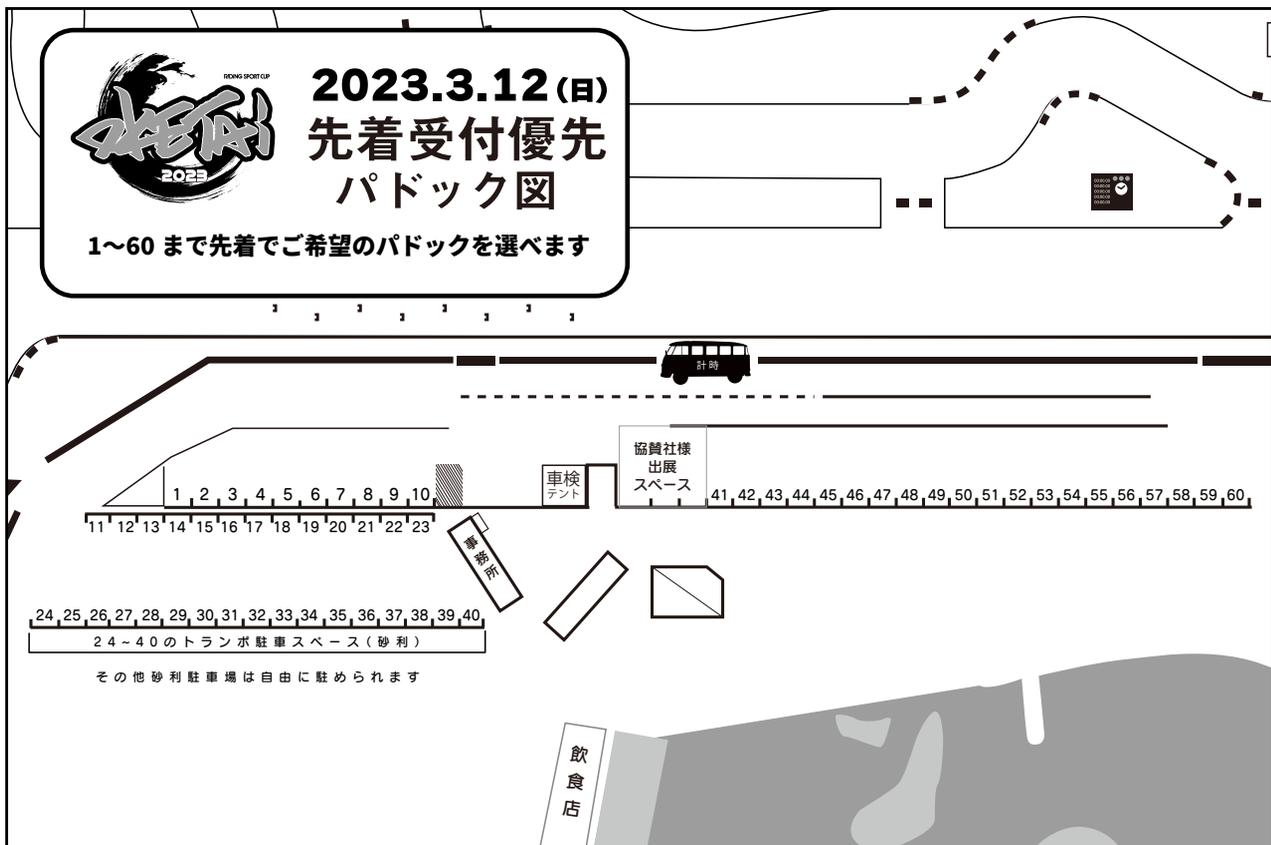
ライダー全員、桶川スポーツランドスポーツ安全保険またはライディングスポーツメンバーズのいずれかに加入しなければいけません。エントリー締切日 (3/5) までに加入してください。

※桶耐には 2022 年度の保険 (保障期間 2022/4/1～2023/3/31) に加入する必要があります。

2023 年分の保険と更新時期が重なりますのでご注意ください。

先着受付パドック

桶耐では、先着 60 チームにパドックが割り当てられます。エントリー時にご希望のパドック No. をお知らせください。希望 No. をもとに割り当てを行います。エントリー開始後に順に HP にてパドック図の更新を行います。



開催クラス

ミニバイク 2時間耐久

総合 40 まで

■ミニバイク車両規定

2st50-100cc、4st50-155cc 以下の市販車。※1

【1】ミニバイク白帯クラス

新コース 49 秒以上のチーム。
ただし上限タイム 49 秒を切った周は無効となりカウントされません。

【2】ミニバイク黒帯クラス

上限タイムなしのクラス
過去 3 年の関東ロードミニ選手権にて
EXP クラスに参加経験の
ある者は各チーム 1 名まで登録可。

■ミニバイク共通チームハンデ (各チームエントリー時に申告ハンデを合計)

| 内容 | ハンデ |
|--|------|
| 1 チーム 1 台での出走 | +2 周 |
| ノーマルマフラー車両 (NSF100 含む) あり | +1 周 |
| OPEN 車両を除く GROM・Monkey125・KSR110・Z125・アドレスあり | +1 周 |
| 18 才以下のジュニアライダーあり | -1 周 |
| レディースライダーあり | +3 周 |
| 過去 3 年の EXP 経験者あり | -1 周 |
| OPEN 車両あり※2 | -1 周 |

大型バイク 2時間耐久

総合 30 まで

■大型バイク車両規定

2st101cc 以上、4st156cc 以上で 450cc 以下の車両。
例外として CRF150R や YZ85 等スーパーモト S3 該当の
車両は参加可。
純正品廃盤車両に限り +1mm までの
オーバーサイズピストンの使用は可。

【1】大型バイク白帯クラス

新コース 48 秒以上のチーム。
ただし上限タイム 48 秒を切った周は
無効となりカウントされません。

【2】大型バイク黒帯クラス

上限タイムなし

■大型バイク共通チームハンデ (各チームエントリー時に申告ハンデを合計)

| 内容 | ハンデ |
|-----------------|------|
| 1 チーム 1 台での出走 | +2 周 |
| ノーマルマフラー市販車あり※1 | +1 周 |
| バイアスタイヤ車両あり | +1 周 |
| レディースライダーあり | +3 周 |
| レーサー車両 ※3 あり | -1 周 |

※1 市販車…レース専用車両を除く一般公道走行車両。ただし HRC レースベース車は市販車社外マフラー扱い、WR250F/TE250/250EXC などのエンデュランサーはレーサー扱いとする。S85 などレーサーのエンジン仕様車は参加不可。

※2 OPEN 車両…ミニバイクに該当する市販車でボアアップ・圧縮比アップ・ポート加工・ハイカムなどエンジン内部にまで改造が及んでいる車両。関東ロードミニ OPEN クラス該当車両。(例 NSR63/80・NSF/Ape125・CBR150 など)

※3 レーサー…CRF250/450R や YZ250/450F などのレース専用車両。

ミニ・大型共通 車両規則

- ・エンジンとフレームは、同一車種のものであること。(年式違いのパーツ流用可。)
- ・ガソリンキャッチタンクを取り付ける事。(キャブレター車のみ)
- ・オイルブリーザーホースが大気開放されている場合は、キャッチタンクやエアクリーナー BOX を介し、吸気循環方式を取る事。エアクリーナー BOX 下部に排出穴がある場合は閉止する事。(クローズドブリーザーシステム)
- ・オイルフィルターキャップ、チェックボルト、ドレンボルトには有効なワイヤーロックを施す事。また、ブレーキまわりに関しても、ボルトやパッドピンにワイヤリングを施すことを推奨する。
- ・ラジエターにクーラントが入っている場合は、水もしくは水とアルコールの化合物に交換しておく事。(ワコーズヒートブロック、ケミテック PG55 TA/GT など)
- ・オイルキャッチタンク・燃料キャッチタンク・ラジエターリザーバータンクは走行前に空にしておく事。
- ・ハンドルを左右一杯にきった時に、タンクやカウルに指を挟まない様に間隔を保持する事。また、ハンドルにはバーエンドか非貫通タイプのグリップを取り付ける事。
- ・バックミラーは危険なので必ず取り外す事。また、リアキャリア等スポーツ走行に必要なないパーツも取り外す事。
- ・車両にカメラなどのアクセサリパーツを取り付ける場合は、走行中に脱落のなきようワイヤリングなどで二重に固定する事。ステーの長さ及び強度によっては認められない場合があるため車検員の指示に従うこと。
- ・ライトやウインカー等の保安部品は取り外すか、ビニールテープにてテーピングする事。
- ・チェーンガード及びF・Rのスプロケットガードは取り外さない事。また、ドリブン(R)スプロケット下側には、スプロケットガードが装着されていることが望ましい。
- ・ブレーキレバー・ペダル・ステップやステー等は安全上先端が中空でなく、丸みを持たせる事。
- ・使用されていないステーや突起物は、取り外すか先端をウエス等で保護する事。
- ・出荷時の外観を著しく損なわれていない事。(ツツパリテール等不可) また、シートカウル及びシートが付いていない車両では走行できない。シートカウルはリヤタイヤ後端より大きく飛び出していない事。
- ・4st ロードバイクに関しては、故障時のオイル漏れの際に効果的なアンダートレー(カウル)を装着している事が望ましい。また転倒時のオイル飛散防止のため、スライダーコーン、クラッチケースカバーガード(二次カバー)、ハンドルストッパー切れ角制限パーツのいずれかを装着する事。
- ・走行音量は、全車 99.0db 以下とする。ただし、測定環境等による +1.0db の誤差は許容範囲とする。測定時の気温が 10℃を下回る場合はさらに +1db までとする。測定方法としては、ストレート脇のコンクリートウォールに測定器を設置し、実際にマシンが通過した際の音量を確認する。
- ・自走での参加の場合は道交法に則った車両であり、タイヤの摩耗や灯火類の状態などを各自注意する事。
- ・ゼッケンはフロントとマシンの両サイド、合計 3~4 箇所に見やすい色、大きさ、書体を考慮し表示する事。原則として文字色は白か黒であることが望ましい。その他の色で視認性の悪いものは車検で認められない場合があるので事前に確認のこと。

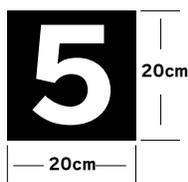
※上記の項目はあくまでも最低限の車両規定です。走行前にしっかりとマシンの状態をチェックし、安全な状態であることを確認してからコースインしてください。特にブレーキトラブルやオイル漏れに関してはコースや他者へ多大な損害を与える可能性があるので特に注意してください。

ゼッケンについて

ゼッケンは、エントリー順に付与されます。(キャンセルが出た場合は繰り上げなし) 色に関しては基本的に自由ですが、視認性の悪い物(サイズ・色・素材)は認められない場合がある為、事前にオフィシャルに確認してください。

ゼッケンベースは、縦横 20cm 以上の物をアッパーカウルとシートの両サイド、合計 3 箇所には設置しなければならない。ただし、やむをえない場合は走行前車検にて合格となったもののみ使用可。市販カウルの小型化に伴い、アッパーカウル・シートカウル上面の 2 点と、車両側面 2 面へのゼッケン表示(サポートゼッケン)も可。

ゼッケンの例



ゼッケンの例



サポートゼッケンの例